

No.25

花と人

Flower with Two Persons

素敵な気持ちを、そのまま文章にできない自分がいて、
それでも伝えたい言葉があり、
花の中に隠れている人のように……



花の美しさ自体に、芸術があるのではなく
それを見て、
美しいと感じる人の心があり、
芸術として成立する

つまり、見る人の感性が無ければ、
どんなに美しい風景も、ただの物質でしかない
僕も、ただの物質でしかない
君も、ただの物質でしかない
ロボットも宇宙も花びらも、
物質の集合体であろう

僕はどんな顔をして
一体、どこへ行こうとしているのだろうか？
僕は、失くした「あばら骨の一本」を探しに、
片方の胸を押さえながら、
もう片方の手でネジを巻いていく

枯れ果てた花は
やがて、新しい種となるだろう